

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成29年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州産業学術推進機構
-----	--------------------

所管課	産業経済局 新産業振興課
-----	--------------

団体に対するミッション
<p>①北九州学術研究都市の研究開発拠点化を推進する。</p> <p>②産学連携による技術力の強化と新事業創出を推進する。</p> <p>③中小企業の経営支援と創業を促進する。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>これまでの取組みや成果について、評価・検証の上、今後とも本市の産業振興の原動力として同団体に求める役割を整理する。さらに、この役割を達成するために取り組むべき事業や組織体制について、必要に応じ有識者等の意見も踏まえながら、精査・検討する。</p> <p>また、この検討の中で、九州ヒューマンメディア創造センターとの統合についても検討していく。</p>

ミッションに基づく中期計画

3~5年後に目指す状態	新たなものづくり（コトづくり）を通じた“Society 5.0 with Human”の実現						
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H28 実績	H29 目標 実績		H30 目標	H31 目標	H32 目標	H33 目標
国プロ等外部資金獲得額	7.3億円	5億円	3.6億円	5億円	5億円	5億円	進捗状況をみて、平成32年度末に目標を再設定
研究開発プロジェクト件数	95件	75件	104件	100件	100件	100件	
新たな研究開発プロジェクトに参加した企業数	60件	60件	63件	80件	80件	80件	
事業化件数	29件	30件	25件	31件	32件	33件	
事業化金額	51.0億円	20億円	50.8億円	52.0億円	54.0億円	56.0億円	

ミッションの遂行状況の評価（平成29年度）

団体における評価	<p>学研都市の効率的効率的運営、技術開発・経営支援、さらには、国内外への積極的情報発信等に取り組んだ結果、国プロ等外部資金獲得額が目標を下回ったものの、成果指標については、概ね目標を達成しており、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研究開発拠点化の推進 ○産学連携による技術力の強化と新事業創出の推進 ○中小企業の経営支援と創業の促進 <p>というミッションにつながる成果をあげることができた。</p> <p>特に、事業化金額は、前年同様、目標値を大きく上回るなど、産学連携による技術力の強化と新事業創出が着実に実行できたものと認識している。</p>	市の評価	<p>中期計画に基づく平成29年度の目標と実績比較により成果の達成度をみると、各指標をほぼクリアしており、評価できる。</p> <p>国プロ等外部資金獲得額と事業化件数については目標を達成できなかったものの、事業化金額においては前年度と同程度の件数を保っており、FAISのミッションを果たしている。</p>
今後の課題及び見直し内容（案）	<p>今後は、これまでの北九州地域における産学官連携による研究開発や学術研究への支援に加え、九州ヒューマンメディア創造センターとの統合にあたり新たに策定した第5期中期計画（平成30年度～平成34年度）を踏まえた自立できる産業づくりのための各種施策の推進により、生産性の向上や産業技術の高度化、活力ある地域企業群の創出・育成に寄与すべく、取組みを実行していく。</p>	団体への改善指導内容（案）	<p>中長期計画に基づき事業を着実に実施し、各指標を達成できるように指導する。</p> <p>また、九州ヒューマンメディア創造センターとの統合を受けて、機能強化案の検討や事務的整理を進めるよう指導する。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	<p>統合を検討する団体</p> <p>特に事業内容を精査する団体</p>
1 統合の検討について	平成30年4月1日付けでFAISとHMCは統合した。
2 事業内容の精査について	平成26年度に設置した『北九州産業学術推進機構今後のあり方に関する研究会』の検討結果を踏まえて今後の方向性を精査・検討しており、平成29年度についてもこの方向性に沿って事業運営を行った。
	さらにHMCとの統合も果たし、本市の重要課題である生産年齢人口の減少に伴う生産性向上・人手不足の解消に向けて、統合による相乗効果を活かした事業に取り組んでいく。